

# 市民の声を市政に

## 21人がより良い市政を目指して

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。掲載内容は、各議員本人が質問と答弁を要約したもので、すべての質問と答弁は、市議会ホームページの録画中継やYouTubeで視聴できます。

霧島市議会中継  検索

二次元コードを、スマートフォンのQRコードリーダーで読み取ることで、一般質問の録画中継がYouTubeでご覧いただけます。

※一般質問は9月6日～9日に行いました。

# 一般質問

## 小規模校を面で支える体制を

山口 仁美 議員

### 若手職員の人材育成を

**問** 市の指針である「これからの公立学校等のあり方について」が示された以降も、児童生徒減の状況がある。現在通っている児童生徒や保護者、学校を含む地域に寄り添い、核となる学校を支えるための対話の機会を作っていく必要があると思うがどうか。

**答** 早い段階から基本的技術や知識を習得させることは有効である。地域をはじめ、民間企業等との対話や連携を通じた人材育成を含め、若手の育成に、より効果的な方法を検討する。

## 新型コロナウイルス感染症収束に市独自の取組を

前川原 正人 議員

**問** 感染拡大が止まらない中で、「親子で感染し、買い物に出ることもできない」などの声がある。県が主体となって取り組んでいるが、この状況が続けば医療や保健所の機能が崩壊することが懸念される。市独自の取組が必要ではないか。

**答** 感染拡大時に、保健所へ保健師を派遣し支援を行っている。今後も、関係機関と連携し感染防止に努めていく。

### 医療費窓口無料で積極的な子育て支援を

**問** 子育てしやすいまちづくりは、保護者の経済的負担を軽減し、人を呼び込む効果がある。「子育てで日本一の霧島市」の

その他の質問  
ごみ処理問題について

## 紛失や破損を防止し、利便性の高いデジタル障がい者手帳の導入を

久保 史睦 議員

**問** 障がい者手帳の紛失や破損等による再発行件数と、提示により減免等を受けられる公共施設はいくつあるか。

**答** 昨年度の再発行は14件。減免できる市の施設は48施設である。

**問** 霧島市雨水管理総合計画は、住民への説明は十分か。また、姫城中央公園を車輛避難場所として開放できないか。

**答** 進捗状況を含め、説明会を検討する。計画はホームページで周知を図っており、対象区域でチラシ配布を行う。公園の中の開放について関係機関と協議し検討する。

### その他の質問

**答** このアプリは、全国の公共交通機関等で、利用拡大が見込まれる。利便性向上や紛失・破損等の防止にも効果がある。本市も公共施設での利用に向けて取り組む。

- ・軽教急車の導入について
- ・男性トイレへのサンタリーボックスの設置について

## 市民の気持ちに寄り添い浸水対策の加速化を

詳細はこちら



## 学校体育施設に空調を設置を

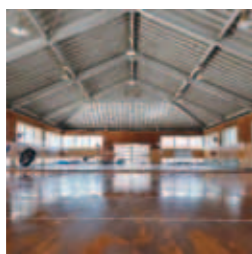
川窪 幸治 議員

**問** 小中学校体育施設に空調設備を整備できないか。

**答** 熱中症対策として、中学校3校の武道館には換気扇を設置している。また、夜間開放を実施している6校の武道館の窓に網戸を設置する予定。今後も老朽化した施設の改修や、学校と連携した教育環境の充実に取り組んでいく。

**問** 小中学校体育施設に空調設備を整備できないか。

**答** 発達段階に応じて、礼儀、思いやり、謙虚な心などについて、学校教育活動を通じて指導している。すべての教職員が児童生徒に対し、自らも身近な大人として、児童生徒の手本となるあいさつを率先して行い、人と人をつなぐ大切なコミュニケーションを身に付けられるように、各学校と連携し指導に取り組んでいく。



国分中学校武道館

## 霧島市の教育現場のあいさつについて

**問** あいさつは家庭教育

その他の質問  
霧島市における教育の連携について

詳細はこちら



## 全国和牛能力共進会の交通手段は

前田 幸一 議員

**問** 開催会場付近の交通状況について、地域住民への周知はできているか。

**答** 県実行委員会が、地元自治会や会場周辺の商店等へ直接出向いて説明している。今後、周辺道路には案内看板を設置予定である。

**問** 当初の計画では、牧園アリーナもシャトルバスの発着場の予定ではなかったか。

**答** 大会関係者や霧島産品特設市場への出品者が予想より多いため、アリーナ駐車場やグラウンドも大会関係者の駐車場に決定している。そのため、横川地区の方は溝辺の臨時駐車場から、牧園地区の方は路線バス等の利用をお願いしたい。

**答** 牧園地区及び横川地区の住民の方も最寄りの臨時駐車場から、シャトルバスを利用していただきたい。

詳細はこちら

